

佐久市文化財保護審議会委員会 会議録

日 時：平成25年11月18日（月）
午後1時30分から3時10分
場 所：野沢会館 203会議室

委 員：出席 9名、欠席 1名
傍聴者：なし

委嘱書交付

- 1 開 会
- 2 教育長あいさつ
- 3 自己紹介 委員・事務局
- 4 会長・会長代理の選出 会 長 丸山 正俊委員 会長代理 中山 洸委員
- 5 会長・会長代理あいさつ
- 6 会議事項（事務局説明、質疑、意見等要約）

(1) 協議事項

ア 文化財指定基準について

事務局 佐久市文化財指定基準（案）を作成し、平成24年3月・6月の審議会で委員の皆さんにお示しし、検討を加えていただけてきた。

継続して内容についてご審議いただきたい。

委 員 これからは、この基準に基づいて指定をするということか。

事務局 前回から時間もかなり経っているため、もう一度検討していただき、次回の審議会で、ご意見等があれば何うということでしょうか。

会 長 持ち帰って次回検討するということがよいか。

委 員 東京都の基準を参考にしているが、近隣市町村の基準を参考にした方がよいのではないかと。

委 員 考えさせてもらい、次回の審議会で検討したい。

イ 福王寺絹本着色愛染明王像の文化財指定について

事務局 福王寺より佐久市指定文化財の指定申請が提出された。お手元の資料をご覧ください審議をお願いしたい。

（内容について事務局より説明）

委 員 実際のものを見せてもらった。こちらは今までお寺では「不動明王」として扱われてきた。「愛染明王」を「不動明王」扱いにして行事等やってきた経過がある。それには理由があると思うが、像が愛染明王として改めて名前が変わるのだから、たとえばカッコして「伝不動明王」としておいた方が、「不動明王像」がどこかへ行ってしまったということがなくなるのでその方がいいのではないかと。また、これに似た「不動明王像」の掛軸を見たことがあるが、この目つきはそれにそっくりで個人的には素晴らしいと感じた。

委 員 明らかに「不動明王」ではない。なぜこれが「不動明王」になったのか。

ただこれだけのものが残っていたのは奇跡だ。

委員 本来は「愛染明王」として扱われるべきだった。「不動明王」であれば、右手に剣を持っているはずである。

事務局 他の皆さんご意見はどうか。

委員 所有者の意向はどうか。

事務局 ご住職は保存に関してはこのまま桐箱に納めて保管ではなく、展示用のケースに入れて皆さんが見られように公開したいという意向をもっている。

委員 「愛染明王」と名前を変えることについてはどうか。

事務局 特に何も聞いていない。

委員 目録には、江戸時代には「愛染明王」と言っていたと書いてある。

事務局 指定については検討いただき、次回ご審議いただきたい。

委員 ここで言っている「不動明王」と「愛染明王像」とが本当に一致するのか納得できない点がある。軸は「愛染明王」と「不動明王」と2本あったのではないか。ただ、お寺にあったものということは間違いない。別だとすれば14ページは削除した方がいい。

委員 次回の審議会の前に一度見せてもらえないか。

事務局 審議委員の皆さんに見ていただくことについては了承いただいている。

ウ 指定文化財の現状変更について

事務局 旧大沢小学校は現在、サッシの窓になっているが、当時の木の窓枠が保存されている。今後、保存・活用を図るため木枠の窓に換えていきたいと考えている。現状変更の際にはご審議をお願いしたい。

委員 資料中の旧大沢小学校の説明文、「昭和57年（1982）の野沢小学校との統合に伴い廃校になった。」の年数について、その当時いたから覚えているが、昭和57年度末、昭和58年3月等の記載が正しいと思う。

事務局 蕨手刀については、現在はアクリル樹脂で固めてあるが、アクリルを外して保存処理をしたいと考えている。

文化財自体に変更がある訳ではないが、保存上の現状変更が生じることから今回報告をさせていただいた。

県立歴史館に展示で貸出をし、見ていただいたところ、非常に貴重なものだという事である。保存処理に向けて歴史館で調査をしていただきたいと考えている。

委員 30～40年位前、臼田町教育委員会でやったと思う。

是非、元に戻せるなら戻した方がいい。

エ 文化財パトロールについて

事務局 11月26日・27日に実施したいと考えているがどうか。

委員 事務局案で進めることで了解。

(2) 報告事項

ア 旧中込学校耐震補強工事および外壁応急工事について

イ 旧中込学校開校日記念事業について

ウ 龍岡城跡石垣応急修繕について

事務局 アの旧中込学校耐震補強工事および外壁応急工事については、9月16日

の台風18号により北側の外壁が一部崩落（二箇所）したため、現在、応急修繕をする方向で手続きをしている。また、今年度末～平成27年度6月頃にかけて耐震補強及び部分修理工事を行う予定である。

イの旧中込学校開校日記念事業については、9月29日（日）に開催し、当日は546名の方に来ていただいた。

ウの龍岡城跡石垣応急修繕については、今年3月14日に石垣が崩落したため、7月に応急修繕を実施した。

委員 石垣の上に小さい土塁があるが、もともとは無かったものを車がそちらへ寄ってこないようにするためにやったもの。何とかして道幅を狭めるようにして、こちらに車が来ないようにしたほうがいい。ここが崩れれば他にも崩れるだろう。

(3) その他

ア 諏訪大明神社本殿について

事務局 諏訪神社は江戸時代中期に盛んに建てられたもののため、それとの比較を今後しなければいけない。現段階では本体のみの調査はほぼ終了している。

委員 棟札が40枚出てきた。ご神体の扉の鍵を開けてもらったところ箱に入っていた。

委員 棟札の多くは修理の記録か。

事務局 棟札は昭和までのものが全てそろっており、神社としては珍しい。

イ 古文書等の史料閲覧について

事務局 古文書等の中には個人情報関係で閲覧できない文書があるが、それについてはご理解いただきながら、閲覧をしていただいている。

委員 学術的な研究に必要ということであれば、できるだけ閲覧できるようにしてほしい。

委員 臼田町誌、浅科村誌、望月町誌等で収集した史料等はどこに保管されているのか。また、目録等はできているのか。

委員 浅科村誌の目録は五郎兵衛記念館にある。

事務局 臼田町誌の目録の作成は終了し、史料は旧臼田町誌編纂室に保管してある。望月町誌については目録作成を望月支所で行っており、今年度刊行する予定で進んでいる。佐久市志の史料は野沢会館に保管してある。

委員 佐久市志の史料の所有は、目録を見れば個人なのか市なのかわかるのか。

事務局 わかるようになっている。目録は佐久市の図書館に置いてある。

委員 研究のために見たい場合は、見せてもその人に責任とってもらえば問題は出ないのではないか。

事務局 最近多いのが、それを業務としている業者の他に、自分の祖先のことを調べたいという方がよく来られるが、申請者のお宅ではなく、隣近所の方の系図を見たい等の方も来る。申請の内容を見て申請者と全く関係ない場合は、閲覧をお断りしている。

委員 何年か前から臼田にあるキレハエビラシダ群落は確認できない状況である。指定解除も含めて審議をすべきである。